

高齢者がいきいきと暮らせる社会へ



1 介護が必要な高齢者、認知症高齢者への支援

介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるような介護体制を整備します。認知症になっても安心して暮らせるよう、地域全体で支えます。

2 見守りが必要な高齢者への支援

高齢者が在宅で安心して暮らせるよう、地域における見守り体制を整備します。

3 介護予防の推進

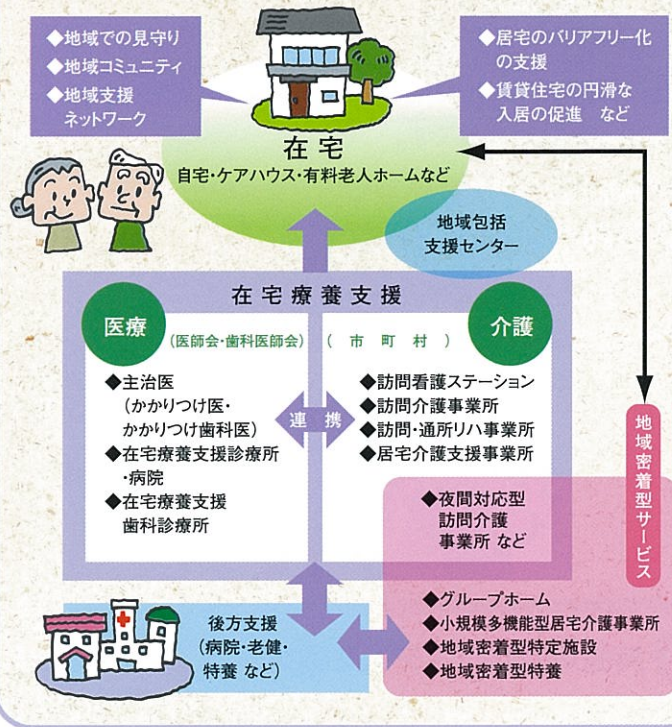
高齢者ができる限り介護を要する状態になることなく、健康な生活を送ることができるよう支援します。

4 元気な高齢者の活躍への支援

社会の中で大きな割合を占めることとなる高齢者が、元気で活躍できるよう支援します。

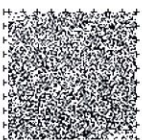
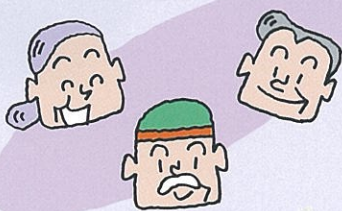
地域包括ケア

高齢者が介護を要する状態になっても、可能な限り住み慣れた地域において継続して生活できるよう、介護、予防、医療、生活支援サービス、住まいの5つを一体化して提供する「地域包括ケア」を推進します。



取組例

あいち介護予防支援センター



平成22年4月に、あいち健康プラザ内に「あいち介護予防支援センター」がオープンしました。介護予防、認知症予防を推進し、高齢者がいきいきと生活を楽しめる社会の構築を目指して活動しています。高齢者一人ひとりに適した介護予防プログラムの研究や具体的な実施方法の検討、介護予防事業の実施主体である市町村・地域包括支援センターに対する研修・相談のほか、高齢者の家族・ボランティア・行政職員等への情報提供や研修により、超高齢社会へのソフトランディングに向けた準備を行っています。